令和４年度事業報告書

学校法人 総合技術学園

札幌科学技術専門学校

令和４年度事業報告にあたって

令和４年度は、前年までと比較してコロナウィルスによる影響は少なくなりつつありましたが、一部の教育活動において予定行事が実施できないなど、引き続き流動的な対応を強いられる一年となりました。そのような中において、全教職員の熱心な取り組みにより無事に年度を終えることができました。令和４年度末で教育終了となる自動車工学科自動二輪車コースにつきましても全員が卒業となりました。

学校運営につきましては新組織体制でのスタートとなり、それぞれが新しい組織を機能させるべく取り組みを行う中で、現在学校が抱えている課題や改善すべき事項を整理し、中期ビジョンとして全教職員で共有しました。

学生募集活動については高等課程が持ち直した反面、専門課程の学生募集は課題を残す結果となりました。

Ⅰ　法人(事務局)

１．理事会・評議員会の開催状況

(1) 理事会

日　時	議　題
令和４年５月２６日	令和３年度事業報告について 令和３年度決算および監査報告について
令和４年１１月２日	令和４年度上半期事業報告について 令和４年度上半期決算報告について 学則の変更について
令和５年３月２７日	３号理事の選任について １号評議員の推薦者の選出について ２号評議員、３号評議員の選任について 監事候補者の選出について
令和５年３月２７日	令和５年度事業計画(案)ならびに予算(案)について

(2) 評議員会

日　時	議　題
令和４年５月２６日	令和３年度事業報告について 令和３年度決算および監査報告について
令和４年１１月２日	令和４年度上半期事業報告について 令和４年度上半期決算報告について 学則の変更について
令和５年３月２７日	１号評議員の選任について ２号理事の選任について 監事候補者の同意について 令和５年度事業計画(案)ならびに予算(案)について

２．理事・評議員・監事の状況

令和５年３月末日現在	定　数	現員数
理　事	7	6
評議員	17	16
監　事	2	2

３．教職員体制

⑴ 採用　自動車工学科(夜間)教員　２名

建築技術学科(研究科)教員１名

⑵ 教職員数

令和５年３月末現在	本務	兼務
教　員	３６	５３
職　員	１１	※6

※校務および清掃パート

４．事務局・総務部事業報告

⑴ 組織体制の見直し

令和４年度組織図の体制で学校運営を行う。年度ごとに見直しを図り効果的な組織体制について検討を継続している。

⑵ 組織管理・労務管理・各種規定整備

前年ベースの定期昇給ならびに役職者に対する役職手当加算・各職務において平均値を下回る教職員に対して特別加算を実施した。

各種規定整備については、随時点検を行いながら一部修正案を部長会議で共有しながら検討を進めている。(継続)

⑶ 一級自動車整備士研究科の開設準備

監督官庁への書類提出等所定の手続きを行い、令和５年４月開講を迎えることができた。

⑷ 教育施設設備の更新等

計画的に実施した主なものは以下の通り。

① 本校舎内ネットワーク環境整備(1・2 階教職員室含む)

② 共通コンピュータ室の PC26 台入れ替え

③ 情報システム学科教育用高性能 PC10 台導入

④ 電気技術学科デジタルオシロスコープ購入

⑤ 夏場対策として教室に扇風機を設置

⑥ 老朽化した機材類の廃棄処理(一部)

⑦ 冬場対策としてストーブの設置

⑧ 高等課程１年生全員にタブレット端末導入(一部無線環境化)

(5) 防災・施設管理関連

① 防災訓練・・本校　５月３１日(火)、北校舎　６月３日(金)実施

② 各種施設点検・・本校、自動車実習棟、北校舎

７月２６日(火)～８月１０日(水)に実施(特定建築物点検、消防設備点検等)

③ 修繕等

月	棟	内容	金額(千円)	備考
4月	3校舎	消火器交換費	330	
4月	本校舎	本校2階教員室ｽﾄｰﾌﾞ取替工事	105	
4･5･6月	実習棟	加圧給水ﾎﾟﾝﾌﾟ更新工事(令和2年度工事分)	1,122	
6月	本校舎	3階海洋実習室水漏れ調査及び断水作業	22	
6月	本校舎	3階海洋実習室ｼﾝｸ給水管漏水対策作業	100	
6月	本校舎	地下ﾎﾞｲﾗｰ室配管水漏れ修理(令和2年度工事分)	38	
6月	実習棟	裏玄関ｶﾞﾗｽ錠取替工事	30	
6月	北校舎	ﾎﾞｲﾗ　携帯ﾓﾃﾞﾑ、ﾉｲｽﾞﾌｨﾙﾀ交換(通信仕様変更)	88	
6月	本校舎	各教室用扇風機　計46台(小型29台・大型17台)	200	
6･7月	校用車	ｾﾚﾅ　ﾒﾝﾃﾅﾝｽ料	36	
6･7月	本校舎	排煙窓ｵﾍﾟﾚｰﾀｰ部分修理部品(校長室・7A教室・3F・予備)	122	
7月	本校舎	3階女子ﾄｲﾚ手洗い排水修理	28	
7月	実習棟	電気温水器取替工事(令和2年度工事分)	374	
7月	実習棟	2階排水水漏れ	30	
7月	本校舎	9階ﾄｲﾚ水漏れ修理工事費	77	
8月	校用車	ｾﾚﾅ左前ﾌﾞﾚｰｷ修理	31	
9月	本校舎	ﾈｯﾄﾜｰｸ装置整備(情報通信ﾈｯﾄﾜｰｸ整備)	6,445	(器具設備)
9月	本校舎	校務用ﾈｯﾄﾜｰｸ装置整備(情報通信ﾈｯﾄﾜｰｸ整備)	1,349	(器具設備)
12月	本校舎	7階　小便器排水管修理	36	
12月	北校舎	3階　黒板灯改修工事	44	
1月	北校舎	外部排水管清掃、排水管継替工事	284	
1月	本校舎	ﾌｧﾝｺｲﾙﾕﾆｯﾄ更新工事	2,035	(付属設備)
2月	実習棟	FF式暖房器2台取替工事	440	(器具設備)
3月	本校舎	2階学生部　電話機不通対応	33	
3月	本校舎	3階A教室　ｶｰﾃﾝ設置	126	
3月	本校舎	手洗器排水管修理　排水ﾄﾗｯﾌﾟ用U管取替	34	
3月	本校舎	4階B教室　床貼替工事	836	(建物)
3月	実習棟	2階ﾄｲﾚ内ﾊﾟｲﾌﾟｼｬﾌﾄ排水管修繕工事	115	
3月	実習棟	1階ｼｬﾌﾄ内Dﾊﾞﾙﾌﾞ修理	51	
3月	実習棟	1階　自動火災報知設備修繕	50	
3月	北校舎	真空暖房ﾎﾟﾝﾌﾟ修理	38	
3月	北校舎	ﾄｲﾚ修理　TOTOﾊﾞｷｭｰﾑﾌﾞﾚｰｶｰ交換	19	
3月	北校舎	無線ｱｸｾｽﾎﾟｲﾝﾄ	601	(器具設備)
		計	15,269	

④ 保守管理等

月	棟	内容	金額(千円)
10月	本校舎・北校舎	産業廃棄物処分料・運搬・ﾏﾆﾌｪｽﾄ料	65
10月	本校	特定建築物等定期調査業務	259
10月	実習棟	特定建築物等定期調査業務	148
10月	北校舎	特定建築物等定期調査業務	185
10月	本校舎	地下ﾀﾝｸ及び埋設配管の漏洩調査	66
1月	本校舎	機密文書処理費用	5
2月	本校舎・北校舎	産業廃棄物処分料・運搬・ﾏﾆﾌｪｽﾄ料	117
3月	実習棟	誘導灯改修	51
		計	896

（6）貸教室事業等

① 貸教室

年度	件数	収益(千円)	前年比
令和1年度	24	3324	310%
令和2年度	8	1728	52.0%
令和3年度	9	2000	115.7%
令和4年度	12	2981	149.1%
増減	3	981	

※最近では１社で多数の教室を使用することが多くなってきている。

② 中学校受入事業

年度	受入件数(件)	生徒数(名)
平成30年度	91	498
令和1年度	88	375
令和2年度	13	50
令和3年度	7	36
令和4年度	60	208
増減	53	172

（7）教職員の福利厚生

① 令和４年４月７日(木)　教職員健康診断実施

② 令和４年９月２０日(火)～３０日(金)　教職員のストレスチェックを実施。

(8)その他

① 現在の学校の課題及び問題点を集約し、札幌科学技術専門学校中期ビジョンを策定し全教職員に周知するとともに、意見書の提出を求め今後の取り組みに対する意見を求めた。(令和４年１１月～)

② 産業医が不在となっていたが、前任者と契約を取り交わしていただいた。(令和４年９月１日～)

③ 高等教育負担軽減制度の更新確認申請を行い機関要件確認校となる。

④ 令和４年１０月６日(木) 北海道監査委員より財政的援助団体等監査を受けた。(特別対処すべき指摘は受けませんでした。)

5　広報部事業報告

(1)　専門課程・高等課程広報部事業報告については学校の部にまとめて記載している。

II　学校部門事業報告

1　学校運営に関わるもの

(1)　対面授業が必須である実習や学校行事等は、若干の制限・縮小もあったが、必要な感染防止対策を施した上で平常に近い状況で実施することができた。

(2)　一級自動車整備士研究科が令和５年４月に開設されることから、教材研究・開発の計画的な準備と推進を図った。

(3)　職業実践専門課程の申請に向けて、推進学科に自動車工学科・電気技術学科を指定し、令和５年度末を目途に準備を整えることを目標とした。また、重点学科は建築技術学科・情報システム学科とし、令和６年度末を目途に準備を整えることを目標とするなど、計画的な推進を図るよう工夫した。

(4)　自己評価委員会による自己評価は、令和３年度と同様の評価項目で実施した。また、令和４年度に「科技専中期ビジョン 2022～2027」が示され、令和５年度には評価項目等の大幅な見直しが必要となることから、自己評価委員会の計画的な開催と準備を図るよう工夫した。

(5)　学校関係者評価は、新型コロナ感染症予防の観点から、文書等による情報交換や意見聴取を行った。委員に対しては、様々な取組の様子が分かる文書等を添付するなど、提供する情報の充実を図り、評価のための資料とした。

Ⅲ　高等課程事業報告（高等課程広報部事業報告含む）

１．生徒異動状況

＜事業計画（目標）：２年生への進級率 95%、３年生への進級率 95%＞

※　例年以上に新入生の指導が困難だった。入学早々からの問題行動・触法行為などにより停学指導を受けた生徒や、家庭事情による家出から退学に至る生徒が見られたほか、不登校状態から脱却できないことによる転学・退学が続出した。年度後半に入っても授業姿勢が落ち着かず、１年生の一部の科目をＴＴ（チームティーチング）とすることで鎮静化・正常化を図ったが、目標を大きく下回る進級率となってしまった。

学年	年度当初	転入	転出	退学	休学	原級留置	進級・卒業者数
1	29	0	1	6	0	0	22（75.9%）
2	33	0	0	0	0	0	33（100%）
3	26	0	0	1	0	0	25（96.2%）
合計	88	0	1	7	0	0	80（90.9%）

※＜参考＞令和３年度：在籍１００名（年度当初）→進級・卒業者数　９２名（92.0%）

２．資格取得状況

検定・試験名		学年区分	合格者数	受験者数	合格率[%]
ワード文書処理技能認定試験３級		１年生	12	21	57.1
C 言語プログラミング能力認定試験３級		１年生	4	4	100
危険物取扱者丙種		１年生	9	14	64.3
電卓計算能力検定	３級	１、２年生	3	9	55.5
	４級		2		
Excel 表計算処理技能認定試験３級		２年生	28	30	93.3
Java プログラミング能力認定試験３級		２年生	3	10	30.0
危険物取扱者乙種４類		２年生	3	11	27.3
Web クリエイター能力認定試験スタンダード		２年生	4	4	100
Access ﾋﾞｼﾞﾈｽﾃﾞｰﾀﾍﾞｰｽ技能認定試験３級		３年生	3	4	75.0
PowerPoint プレゼンテーション技能認定試験	初級	３年生	1	3	33.3
第二種電気工事士		３年生	3	8	37.5
トレース技能検定４級		３年生	2	2	100
初級バイオ技術者		３年生	1	2	50.0
AI 検定		３年生	1	3	33.3
実用英語技能検定	３級	全学年	3	4	75.0
	４級		1	1	100

３．生徒指導状況

スマートフォンの使用にまつわるトラブルの増加が継続しています。ネットパトロールのほか、教員の研究・知識の強化が継続して必要と思われる。

４．クラブ活動等

(1)バドミントン部

定時制通信制体育連盟石狩支部大会（５月）

個人戦　ベスト８　１名　　１回戦敗退　１名　　２回戦敗退　１名

定時制通信制体育連盟石狩支部新人大会（１０月）

個人戦　ベスト８　２名

(2)パソコン部　大会参加なし

例年、参加をしていた全国高等学校ＩＴ・簿記選手権大会が、令和元年度の開催後、コロナによる開催中止を経て、再開されないまま終了となった。

５．進路希望状況

＜事業計画（目標）：専門課程への進学率８０％＞

進学者のみで見ると、専門課程への進学者は７９％となり、目標に近い結果となった。他校の専門学校への流出が少なかったことは、５年間一貫教育の推進の成果とも思われるが、就職希望者のうち、特に経済的理由により進学を選択しない生徒・家庭に対しては、専門課程進学時の特典や国の就学支援制度等について、専門課程との連携・協力を仰ぎつつ、周知を深めて行きたい。

＜令和４年度　進路状況（卒業生２５名）

進路先		詳細	人数	小計	合計
進学	大学・短大	星槎道都大学　経営学部　経営学科	1	3	25
		北海道科学大学　工学部　電気電子工学科	1		
		北海道情報大学　経営情報学部　システム情報学科　AI コース	1		
	専門学校等	札幌科学技術専門学校	15	15	
		吉田学園情報ビジネス専門学校　コンピュータグラフィックス学科	1	1	
就職		北海道キリンビバレッジ株式会社	1	6	
		道央車輌株式会社	1		
		舗道工業株式会社	1		
		株式会社シズナイロゴス	1		
		Aqua Lung（飲食店）	1		
		株式会社　大島塗装店	1		

専門課程進学内訳

学科・コース	人数	学科・コース	人数	合計
情報システム学科	4	建築技術学科	2	15
二級自動車整備士コース	3	バイオテクノロジー学科	2	
電気技術学科	2	自然環境学科	2	

６．機材・教材・施設・設備導入状況

文部科学省の推進する「ＧＩＧＡスクール構想」に合わせた「１人１台端末」及び「高速大容量の通信環境」の整備に向けて環境整備を行なった。初年度であり、端末（iPad）の配布およびアクセスポイントの設置は、１年生に対してのみであったが、授業内での使用および家庭学習課題等の活用を行なった。今後、学年進行で導入していく中で、今年度の取組みを活かしつつ、更なる活用を充実させていけるように教員間での連携、研修等を進めて行きたい。

７．募集活動状況

⑴ 学校説明会参加組数の推移

年度	第１回目	第２回目	第３回目	合計
令和２年度	14	28	20	62
令和３年度	17	17	25	59
令和４年度	15	30	26	71

※　総数は過去２年を上回り、定員には満たないものの入学者数の回復に繋がったとはいえ、説明会参加後も併願受験での出願の後、辞退に繋がるケースがやはり多く、十分な満足感を与え、単願での出願に繋がるように、内容について工夫を重ねたい。

⑵ 中学校訪問

例年、教員で割り当てをして各校２回の訪問をしているが、１回目はまん延防止等の発出期間ではなかったもの、玄関先で資料の受け渡しのみを希望されるケースも多かった。２回目の訪問では幾らか状況が改善されたように感じたが、例年のこととして、教職員が通常業務の合間の限られた時間に中学校の進路担当者と面談可能な時間を調整することは難しいのが現状である。訪問時期には、思い切って午前授業にするなどの工夫を検討してみたい。

⑶ 不登校生向けの合同学校説明会への参加

㈱オービィ主催（７月、１０月）、朝日広告社主催（１０月）の計３回の合同説明会に参加した。特に㈱オービィ主催の説明会は、実習体験ブースを設けているため、ある程度の賑わいがあるが、不登校の受け入れに特化した他校に対し、全日制スタイルの本校は受けが悪い。今以上に積極的に不登校生を受け入れていくのであれば、登校スタイル、教育課程を大幅に見直していく必要があると感じる。

８．新型コロナウィルスの感染拡大防止に向けた取り組みについて

⑴ 入学式･･･縮小実施とし、東京校校長・担任を招かず実施した。

⑵ 宿泊研修･･･２年ぶりに実施したが、対策の一環として研修(宿泊)施設を変更した。

⑶ 保護者全体懇談･･･５月１３日（金）に、前年の完全オンラインから通常実施に戻し、授業公開も実施した。

⑷ 避難訓練･･･感染対策として教室内での防災啓発活動（北海道シェイクアウト）も検討したが、６月３日（金）に例年通りの計画で実施した。

⑸ 見学旅行（３年）･･･二度の延期や内容の変更（宿泊数、看護師の同行等）を重ね、６月１４日（火）～６月１６日（木）に実施した。

⑹ 文化祭･･･練習や開催当日の密状態を避けるため、クイズ大会などに内容を変更して７月１９日（土）に開催した。

⑺ 学級閉鎖･･･感染者、濃厚接触者多数につき、９月５日（月）～９月９日（金）、１１月１４日（月）～１１月１８日（金）まで１年Ｂ組の学級閉鎖を行なった。

⑻ 体育大会･･･９月２７日（火）に予定通り開催した（観覧はご遠慮いただいた）。

⑼ 見学旅行（２年）・・・１０月２５日（火）～１０月２８日（金）に予定通り実施した。

⑽ 卒業式･･･縮小実施とし、東京校校長・担任を招かず、在校生の参列なしで実施した。

⑾ 衛生管理･･･玄関での手指消毒、検温、昼食後・放課後の教室清拭、実習機材（ＰＣ、工具、その他）の清拭（除菌シート使用）を継続して実施した。

⑿ 備品、機器購入･･･令和３年度に続き、学校保健特別対策事業補助金交付の規定に基づき、換気・加湿等の必要機材について追加購入をした。

Ⅳ　専門課程事業報告（専門課程広報部事業報告含む）

１．令和４年度計画の実施、変更について

(1)主要行事：在校生授業開始 4/6、入学式 4/13、卒業式 3/16

(2)新型コロナウイルス感染症に係る対応

10/25（火）～　10/28（金）　【臨時休校】

この間に予定されていた体育祭は中止。

学内において引き続き、基本的な感染対策の徹底を図った。

(3)研修

・整備主任者研修：自動車工学科８名受講（うち１名は 11 月末で退職)。

・教員能力認定研修：6 名受講

・職業実践専門課程に係る研修会：第１回（8 月）４名、第２回（12 月）７名受講

・新年教職員研修：「カギセンでの５年間～15 歳で入学、20 歳で卒業するまで～」と題して、本校の高専連携のあり方などについてグループワーク、意見交換を行った。

２．令和４年度の休学、退学の状況について

令和４年度 １年生

	入学	過年度	年度当初人数	留年	休学	退学除籍	休学率	退学除籍率	進級	進級率	入学者のうち休・退学者	入学者のDO率
建築	20		20	2					18	90.0%	2	10.0%
環境	10		10						10	100.0%		0.0%
バイオ	13		13						13	100.0%		0.0%
海洋	23	1	24						24	100.0%		0.0%
電気	25		25			2		8.0%	23	92.0%	2	8.0%
情報	19	4	23			1		4.3%	18	78.3%	1	5.3%
整備	50	12	62	2	2	3	3.2%	4.8%	57	91.9%	5	10.0%
二輪（募集停止）												
整備（夜1年）	8		8						8	100.0%		0.0%
整備（夜2年）	9	1	10	1	1		10.0%		9	90.0%		0.0%
専門課程計	177	17	195	4	2	6	1.0%	3.1%	185	94.9%	10	5.6%
建築研究科	4		4						4	100.0%		
二輪研究科	0		0						0			
研究科計	4	0	4	0	0	0			4	100.0%		

令和４年度 ２年生

	進級	過年度	年度当初人数	年度内卒	留年	うち休学	退学除籍	休学率	退学除籍率	年度末卒業	卒業率	進級者の卒業率
建築	12	3	15		3	3		20.0%		12	80.0%	100.0%
環境	11		11							11	100.0%	100.0%
バイオ	12		12		1	1	1	8.3%	8.3%	12	100.0%	100.0%
海洋	14	2	16	1	1	1		6.3%		14	93.8%	100.0%
電気	10	1	11		1	1		9.1%		10	90.9%	100.0%
情報	21	1	22		1	1		4.5%		18	81.8%	85.7%
整備	42	3	45		3	3	1	6.7%	2.2%	41	91.1%	97.6%
二輪	3		3							3	100.0%	100.0%
整備（夜3年）	8		8							8	100.0%	100.0%
専門課程計	133	10	143	1	10	10	2	7.0%	1.4%	129	90.9%	97.0%

令和３年度入学者の動向

	入学時	進級時	卒業	ドロップアウト率*	入学者の卒業率
建築	14	12	12	14.3%	85.7%
環境	10	10	10	0.0%	100.0%
バイオ	12	12	10	16.7%	83.3%
海洋	15	14	14	6.7%	93.3%
電気	13	10	10	23.1%	76.9%
情報	24	21	21	12.5%	87.5%
整備	49	42	41	16.3%	83.7%
整備（夜）	9	8	8	11.1%	88.9%
二輪	3	3	3	0.0%	100.0%
専門課程計	149	132	129	13.4%	86.6%

*休学者を含む

入学一年目でのドロップアウトを防ぐことが重要であると考えられ、各学科と学務部、学生支援センターが連携した組織的な取り組みが課題である。

３．専門課程各学科

(1)建築技術学科、建築技術研究科

①教育活動

・二級建築士試験に研究科４名が受験し、１名が合格（3 名は学科試験のみ合格）。

・機材、教材は CAD 教室の椅子を除き、購入・整備することができた。

②資格取得状況

資格名	目標合格率	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率
建築CAD検定3級	100%	18	17	94%
建築CAD検定2級	75%	12	6	50%
2級建築施工管理技術検定	65%	12	9	75%
二級建築士（学科）	100%	4	3	75%
二級建築士（製図）	25%	3	1	25%

③就職内定状況（専門課程２年生 12 名、研究科４名、内定 16 名）

設計職４名：㈱アートホーム、竹内建設㈱、㈱池下設計２名

施工職５名：伊藤組土建㈱、㈱ウッディークラフト、寿建設㈱、山﨑建設工業㈱2 名

大工職３名：岡村建設㈱、㈲石亀工務店、㈲丸豊五十嵐工務店、

専門職２名：㈱明作、㈱大川

総合職２名：トランスコスモス㈱、住まいのクワザワ

(2)自然環境学科

①教育活動

・新型コロナウイルスによる規制が大幅に緩和され、校外実習および宿泊実習はほぼ予定通り実施。知床実習において、観光船事故の影響で一部予定の変更を余儀なくされた。

②資格取得状況

資格名	目標合格率	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率
技術士第一次試験（環境）	40%	10	4	40%
公害防止管理者水質1種	80%	2	0	38%
公害防止管理者水質3種	40%	3	0	
公害防止管理者水質4種	40%	2	0	
環境計量士（濃度）	25%	2	0	
毒物劇物取扱責任者	80%	3	3	100%
生物分類技能検定2級	25%	1	0	
生物分類技能検定3級	85%	13	13	100%
2級ビオトープ管理士	75%	11	4	36%

③就職内定状況（2 年生 11 名、内定 9 名）

分析・測定職 2 名、環境コンサルタント、理化学機器・薬品販売 2 名（営業、事務)、測量設計職、地質・土質調査、農業（家業)、飲食業

④募集活動

・広報部と協力し学科紹介リーフレットを作成した。道内高校、自然体験施設等に配布し、学科の知名度につながることを期待している。

(3)バイオテクノロジー学科

①教育活動

・新型コロナウイルスの影響で、アザミ調査実習（5 月）と施設見学実習（6 月）は実施できなかった。忍路臨海実習は施設側の人数制限により宿泊ではなく、2 グループに分けて日帰りで実施した。

・OB、OG を含めた 3 企業による職業講話を実施（11 月）

②資格取得状況

資格名	目標合格率	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率
中級バイオ技術者	100%	12	12	100%
初級バイオ技術者		1	1	100%
危険物乙種第4類	80%	5	3	60%
危険物乙種第3類	80%	2	2	100%
危険物乙種第6類	80%	1	1	100%
危険物甲種	80%	3	1	33%

③就職内定状況（2 年生 10 名、内定 8 名、進学 1 名）

シミックファーマサイエンス㈱ 2 名、㈱トンデンファーム、㈱エフビーエス、札幌市職員、札幌臨床検査センター㈱ 2 名、㈱出光プランテック北海道

室蘭工業大学 編入学

④募集活動

・月一回程度でインスタグラムと学校ホームページのブログ更新により情報を発信。入学体験会参加者にはフォローのハガキを送付。学生と一緒に学科リーフレットを新しく作成、広報部に郵送や配布の協力をしてもらっている。

(4)海洋生物学科

①教育活動

・スノーケリング実習（7 月)、黒松内宿泊実習（9 月)、忍路臨海実習（9 月）が中止。

②資格取得状況

資格名	目標合格率	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率
2級小型船舶操縦士免許		1	1	100%
潜水士		1	1	100%

③就職内定状況（2 年生 14 名、内定 13 名）

公務員など公的機関 4 名、水族館・熱帯魚関係 3 名、潜水 1 名、市場 1 名、増殖 1 名、水産海洋系以外 3 名

(5)電気技術学科

①教育活動

・新型コロナウイルスの影響により、北電施設見学（1 年泊原子力発電所、2 年南 3 条地下変電所、苫東厚真火力発電所）は中止。

・1 年ビジネス EXPO 参加（11/10)。

②資格取得状況

資格名	目標合格率	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率
第一種電気工事士（筆記）		13	9	69%
第一種電気工事士（技能）		9	6	67%
2級電気工事施工管理技術検定（学科）		8	6	75%
認定電気工事従事者（認定）		6		
消防設備士乙種7類		1	19	5%

③就職内定状況（2 年生 10 名、内定 10 名）

北海電気工事 1 名、北弘電社 4 名、システムサービス 1 名、桧山電気 1 名、岡本電設 2 名、東光工栄：1 名

(6)情報システム学科

①教育活動

・WEB 製作発表を実施（9 月、2 月)。WEB 作品を保護者も閲覧できるようにした。

・卒業制作発表を実施（6 月、9 月、11 月、2 月)。

・1、2 年ビジネス EXPO 参加（11 月)。

②資格取得状況

資格名	目標合格率	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率
ITパスポート		6	5	83%
情報セキュリティマネジメント		4	3	75%
基本情報技術者		6	3	50%
応用情報技術者		4	1	25%
情報活用検定1級		1	1	100%
情報活用検定2級		5	5	100%
情報活用検定3級		8	5	63%
WEBクリエイターエキスパート		2	1	50%
WEBクリエイタースタンダード		10	10	100%
C言語プログラミング2級		2	2	100%
C言語プログラミング3級		3	1	33%
G検定		1	1	100%
AI検定		4	3	75%

③就職内定状況（2 年生 21 名、内定 15 名）

プログラマー 8 名　SE 2 名　ネットワーク系 1 名　技術系 1 名　販売・接客 3 名
就労支援 B 型従事 1 名　デバッガ―アルバイト 1 名

(7)自動車工学科二級自動車整備士コース

①教育活動

・令和 5 年 3 月北海道運輸局により、一級自動車整備士研究科が認可された。
・昼間 2 年生を対象にコンピュータ教育の授業を開始。
・中古車査定士講習（6/6-8、昼間 2 年）、中古車査定士試験（6/19）
・ダイハツ北海道販売 実技講習（7/7、昼間 1 年）
・ガス溶接技能講習（7/16-17、昼間 1 年）
・札幌トヨペット 講話（8/31、昼間 1 年）
・北海道マツダ 技術セミナー（9/2、昼間 1 年）
・校外実習（9/22 新千歳モーターランド、昼間 1 年）中止（直前に発生したカートイベントでの死亡事故の影響）。
・日産自動車 技術講習会（10/6、昼間 1 年）
・自動車実習棟 1 階リフトが故障。現在、1 台交換の発注をし納品待ち。

②資格取得状況

資格名	目標合格率	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率
【昼間】				
二級ガソリン自動車整備士	100%	41	40	98%
二級ジーゼル自動車整備士	100%	40	40	100%
中古車査定士		6	5	83%
ガス溶接安全教育		38	36	95%
アーク溶接安全教育		50	50	100%
タイヤ空気充てん作業特別教育		50	50	100%
研削砥石安全衛生特別教育		49	44	90%
電気自動車等の整備事業に係る特別教育		49	49	100%
【夜間】				
二級ガソリン自動車整備士	100%	8	8	100%
二級ジーゼル自動車整備士	100%	8	8	100%
アーク溶接安全教育		8	8	100%
タイヤ空気充てん作業特別教育		8	8	100%
研削砥石安全衛生特別教育		8	8	100%

③就職内定状況

（昼間 2 年 41 名、うち内定 38 名、自己開拓 3 名、夜間 3 年 1 名内定、進学 1 名）

札幌トヨタ 1 名、ネッツトヨタ札幌 3 名、ネッツトヨタ道都 1 名、札幌トヨペット 4 名、トヨタカローラ札幌 6 名、札幌日産 6 名、北海道マツダ 2 名、ホンダ四輪販売北海道 1 名、北海道スバル 2 名、スズキ自販北海道 2 名、北海道いすゞ自動車 2 名、北海道日野自動車 1 名、釧路トヨタ 1 名、東北海道日野自動車 1 名、青森トヨペット 1 名、北海道ブブ 1 名、株式会社ヤナセ 1 名、エム・エス・ケー農業機械 1 名、ヤンマーアグリジャパン北海道 1 名

一級自動車整備士研究科進学 1 名

(8)自動車工学科自動二輪車コース

①教育活動

・校外美化活動を実施（5 月、北校舎周辺の清掃活動）。

・校外実習（6 月、金属加工場でのものづくり体験。7/8 付北海道新聞夕刊掲載）

・令和 5 年 3 月をもって、自動二輪車コースの教育活動が休止。

②資格取得状況

資格名	目標合格率	受験者数（人）	合格者数（人）	合格率
二級ガソリン自動車整備士		1	1	100%

③就職内定状況（専門課程 2 年生 3 名、内定 2 名）

北斗重工株式会社（溶接工）、エーテック電子（製造業）

4．学生募集報告

ウイズコロナとなって入学体験会の参加者は前年よりは少し増えましたが、逆に出張個別説明会、オンライン説明会、個別学校見学は、参加者を減らす結果となった。

出願者については出願開始時期から前年を下回り、最終的な入学者については前年比－31 名、18%減という結果になった。現在の広報活動の内容の見直し、または別な対策の検討が必要と考えている。

(1) 入学体験会状況

回	実施日	自動車	自然	バイオ	海洋	建築	電気	情報	合計	昨年同時期
1	3 月 26 日	2	0	1	3	3	3	0	12	16
2	4 月 29 日	6	0	1	4	1	4	2	18	23
3	5 月 28 日	15	3	3	7	3	3	3	37	0
4	6 月 19 日	6	1	2	3	3	0	8	23	19
5	7 月 31 日	6	2	2	3	4	5	4	26	30
6	8 月 5 日	4	1	1	1	4	4	2	17	10
7	8 月 27 日	7	2	2	3	3	4	2	23	41
8	9 月 17 日	5	1	2	0	1	1	1	11	10
9	10 月 1 日	1	0	1	2	0	1	0	5	5
10	10 月 15 日	0	0	0	0	0	0	0	0	8
11	11 月 12 日	2	0	1	1	0	1	0	5	8
12	12 月 3 日	2	0	0	1	1	0	1	5	2
13	12 月 17 日	3	1	0	0	0	1	0	5	10
14	2 月 4 日	2	2	0	2	0	2	1	9	6
15	3 月 4 日	0	1	1	0	2	1	2	7	4
合計		61	14	17	30	25	30	26	203	192
昨年		60	20	16	22	24	23	27	192	
前年比		101.7%	70.0%	106.3%	136.4%	104.2%	130.4%	96.3%	105.7%	

※上記数字は 3 年生以上対象。リピーターは初回のみカウント。

※前年は中止 2 回、短縮二部制 2 回、短縮一部制 3 回、フル開催 8 回、今年は全フル開催

(2) 出願者数及び入学者数

入試	実施日	自動車	自然	バイオ	海洋	建築	電気	情報	建研究	一級研	夜間	合計	昨年同時期
1次	10月8日	20	3	1	9	5	9	2	0	0	0	49	69
2次	10月22日	3	0	3	8	0	4	5	0	0	0	23	28
3次	11月19日	1	0	0	1	0	0	0	0	1	0	3	11
4次	12月10日	11	3	2	3	4	5	5	0	0	2	35	36
5次	1月21日	2	0	1	0	1	1	1	0	0	0	6	7
6次	2月11日	5	4	0	0	0	2	0	0	0	2	13	13
7次	3月11日	0	2	2	2	1	1	2	0	0	1	11	10
8次	4月1日	1	1	1	1	1	0	3	0	0	0	8	5
合計		43	13	10	24	12	22	18	0	1	5	148	179
辞退		2	0	0	3	1	1	0	0	0	0	7	7
入学者		41	13	10	21	11	21	18	0	1	5	141	172
昨年入学		50	10	13	23	20	25	19	4		8	172	
前年比		82.0%	130.0%	76.9%	91.3%	55.0%	84.0%	94.7%	0.0%		62.5%	82.0%	

(3) 募集計画の実施状況

① ホームページの活用

LINE システムについて友達登録数が 848 件となり、入学体験会申込や問い合わせの中心となり高い募集効果があった。SNS の活用については未だ学科毎にばらつきがあるため今後の課題である。

また、新パンフレットの制作業者がホームページ制作と一緒なので新パンフのイメージでリニューアルしている。

② 入学体験会の歩留まり強化

体験プログラム・参加者対応について意見交換を行っている。引き続き各学科と意見交換を行い、平日の短時間入体の実施の検討を行いたい。

③ オンライン説明会の内容充実

ウイズコロナとなって前年と比較して大幅に対応人数が減少しているが、出願率は高く遠方の方については有効な取り組みと考えられるため、道外からの資料請求者にはオンライン説明会告知の文書を同封して誘導したいと考えている。募集対象 5 組中 4 名の出願（出願率 80.0%）

④ 道内各地における学校単独個別説明会を実施

5 月１０日～全道 11 会場、9 月 6 日～全道 10 会場、3 月１３日～全道 12 会場（2 年生対象）で開催。募集対象 11 組中 9 名の出願（出願率 81.8%）

前年よりも対応人数は減少はしてるが、出願率は高く道内遠方の方については有効な取り組みと考えられるため、引き続き開催予定。なお、申し込みが減

少しているので対象学年を問わず 1,2 年生も早期から接触対応できるようにする予定。

⑤ 個別学校見学対応内容の充実

入学体験会とは違う対応内容の検討を継続中。

募集対象 6 組中 3 名出願（出願 50.0%）

⑥ 学科予算の活用促進

今年度は電気技術学科の教材購入、自然環境学科・バイオテクノロジー学科のリーフレットの作成があった。今後も入学体験会内容改善のための教材購入や出前授業・校内受入の内容改善に使える予算として活用を継続したい。

⑦ 学校案内パンフレットリニューアル

ホームページ制作を担当している栄美通信社と 3 年間パンフ制作をすることに決定した。

⑧ その他

高等課程からの入学者は以下の通り。

整備 3 名、環境 2 名、バイオ 2 名、建築 2 名、電気 2 名、情報 4 名　計 15 名

5．学生部(学務部学生担当)

(1) 学生会活動

文化祭　令和 4 年 7 月 20 日（水）

・模擬店、E-スポーツ、カギノ（カジノ)、ビンゴ大会を実施

体育祭　令和 4 年 10 月 26 日(水)　予定が中止

・新型コロナ感染症による臨時休業の為中止

(2) クラブ活動　令和 4 年 6 月から 10 月まで実施

① バドミントン部：北校舎体育館での練習（10 回）を実施

② 自動車部：カート大会出場（1 回)、カート練習会（3 回）を実施

③ 水槽部：週 1 回、学校エントランスの水槽メンテナンスを実施

④ 自転車同好会：秋のツーリングを実施

(3) 校外美化活動　令和 4 年 5 月から 10 月まで週 1 回、実施

6．就職支援室

(1) 企業訪問の為の出張について

① 自動車工学科：実施せず

② 上記以外の学科：道内出張を 1 回実施

(2) 就職内定率

学科・コース名	卒業者数	就職希望者数	就職決定者数	就職決定率
建築技術	12	12	12	100.0%
自然環境	11	10	9	90.0%
バイオテクノロジー	10	9	8	88.9%
海洋生物	15	15	15	100.0%
電気技術	10	10	10	100.0%
情報システム	21	19	17	89.5%
二級自動車整備(昼間)	41	40	39	97.5%
二級自動車整備(夜間)	8	1	1	100.0%
自動二輪車	3	3	2	66.7%
建築研究科	4	4	4	100.0%
合計	135	123	117	95.1%

7．学生支援センター

(1) 学生支援センター利用者の対応　※各年度９月末日で集計

＜学生支援センター利用者数＞

	対応人数	保護者対応	備考
2022年度	29名 （1年生12名/2年生14名/卒業生3名）	14名	退学6名、退学見込1名、休学2名、休学継続1名、進級7名、卒業9名

※2021年度と比較して学生対応は6名減、保護者対応は2名増

＜2022年度対応者内訳＞

	AE	AM	H	B	F	K	ED	IS	NA	合計
1年	3			1	4	1	1	2		12
2年	7		2	2			1	1	1	14
卒業生	1			2						3
合計	11		2	5	4	1	2	3	1	29

＜利用経路＞

	AE	AM	H	B	F	K	ED	IS	NA	合計
直接	5			1				1		7
学科	4		2	2	3	1	1	2	1	16
その他	2			2	1		1			6

※その他には就職支援室経由、広報経由、保護者からの直接の相談を含む。

＜主な相談内容＞※重複あり
・精神的な落ち込み…15 名
・医療的な診断を受けた学生に対するフォロー…10 名
・家庭環境や生活の乱れによる心身不調…8 名
・進路、就職の問題…5 名
・経済的な問題に対するフォロー…5 名
・友人・異性間トラブル…3 名
・学校・教員への要望…5 名
・休学中の状況確認と復学に向けたフォロー…2 名
・卒業後のフォロー…3 名

昨年度より面談者数は多少減少したが、これまでに比べると増加傾向。

鬱傾向や発達障害等の医療的な診断を受けている学生、診断は受けていないが鬱傾向や不安障害等の疑いのある学生も多く、相談主訴に障害や病気に起因するものが増加した。

(2) 新規の取り組み事業

自閉症スペクトラム指数のスクリーニング検査を学内で実施（対象者 1 名）検査前の概要説明および検査後の結果説明を学生と保護者、担任に実施。検査結果を卒業後に学生が利用する就職支援機関にも説明し、就職支援の参考としてもらった。

(3) 高校訪問

札幌市内 3 校、胆振管内 5 校訪問。登校が不安定となっている在校生、次年度入学予定者の中で学校生活について不安要素のある学生についての情報交換を実施。入学後の学生フォローに有益な情報が得られることが多く、重要な内容は学科と共有した。

(4) 各種奨学金の窓口対応

・日本学生支援機構
・各市町村が実施する奨学金及び給付金事業
・あしなが育英会
・交通遺児育英会

(5) その他

・日本学生支援機構「物価高に対する経済対策支援金」事業の申請。現在給付奨学金の受給対象となっている学生 65 名に一律 10,000 円を支給。（うち 1 名は休学中のため保留）
・日本年金機構（学生納付特例）手続き業務
・留学生の面談対応と日本語学校の訪問計画立案